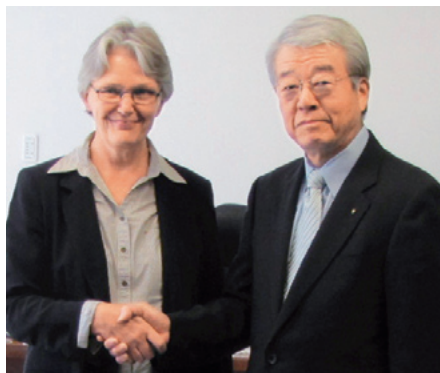


防コミの歩き方

BOSAI
KOBE
MIRAI

国連事務総長特別代表に「BOKOMI」を紹介



マルガレータ・ワルストロム国連事務総長特別代表（防災担当）が、矢田立郎市長への表敬訪問、防災に関する活動を行っている団体との対談を希望し、5月15日に神戸市を訪れました。

●矢田立郎市長を表敬訪問

国連国際防災戦略事務局では、「災害に強い都市の構築」のため、世界防災キャンペーンを行っています。ワルストロムさんは、「神戸市は防災に対する計画や技術を蓄積し、災害に対し、包括的に備えることが出来ている。15年たってもコミュニティレベルの活動が持続的に行われている」と評価していました。

●各団体との意見交換会

午後には、NPO法人プラス・アーツ、AMARC JAPAN、CODE海外災害援助市民センター、神戸学院大学防災・社会貢献ユニット、人と防災未来センター、魚崎町防災福祉コミュニティ、神戸市消防局の各団体と意見交換会を行いました。

●「BOKOMI」

消防局は、震災の教訓で結成された防災福祉コミュニティの仕組みや結成状況、活動内容を説明しました。また、防災教育により小中学生に楽しみながら震災の教訓と経験を伝えていっていることや、JICAを通じて世界各国の防災機関の方に研修を実施し、世界中の防災活動の普及に取り組んでいることなどを紹介しました。

●防コミの活動事例

防災福祉コミュニティの具体的な活動事例として、魚崎町防災福祉コミュニティの清原副会長が「共に助けあう」ことについて熱く語り、災害時要援護者の支援や訓練について説明しました。ワルストロムさんは、このようなコミュニティレベルでの防災対策に非常に興味を持ったようでした。今回のように世界の方々に「BOKOMI」の活動を理解していただき、各国へ広がっていけばと思います。

（予防課 地域防災支援係 秋田稔之）

